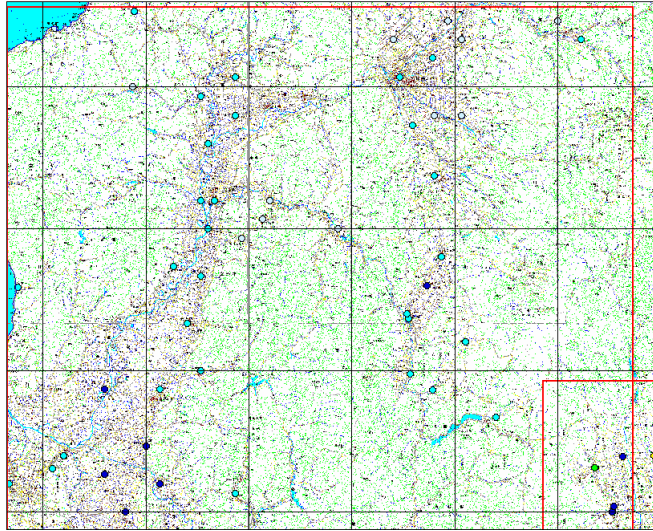
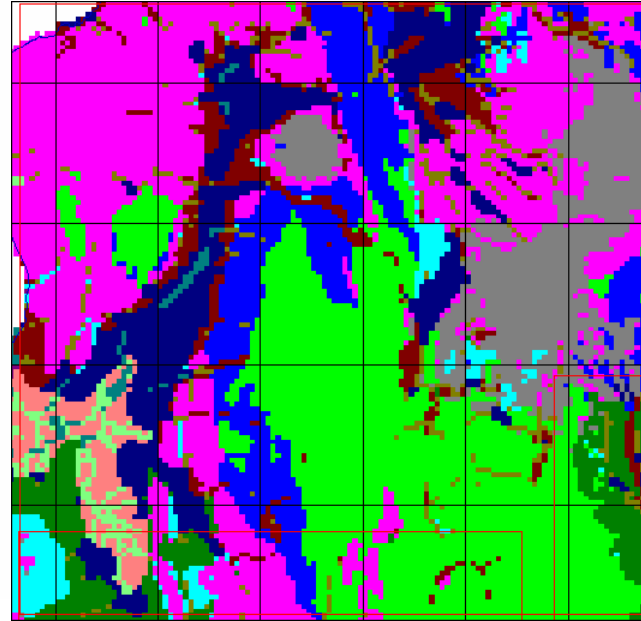


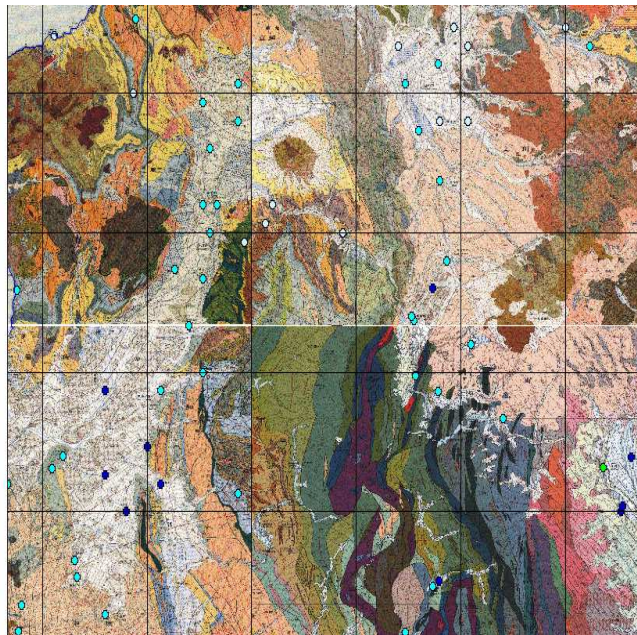
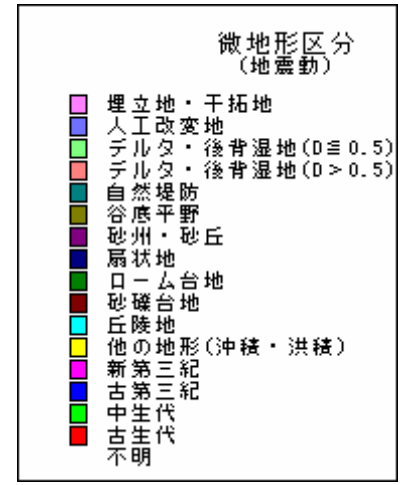
図 2-5-5
微地区分の再検討
(日高東岸地区)
左上：地形図
左下：地質図
右上：微地形区分
(2004.3時点)
右下：見直し後の微地形
区分



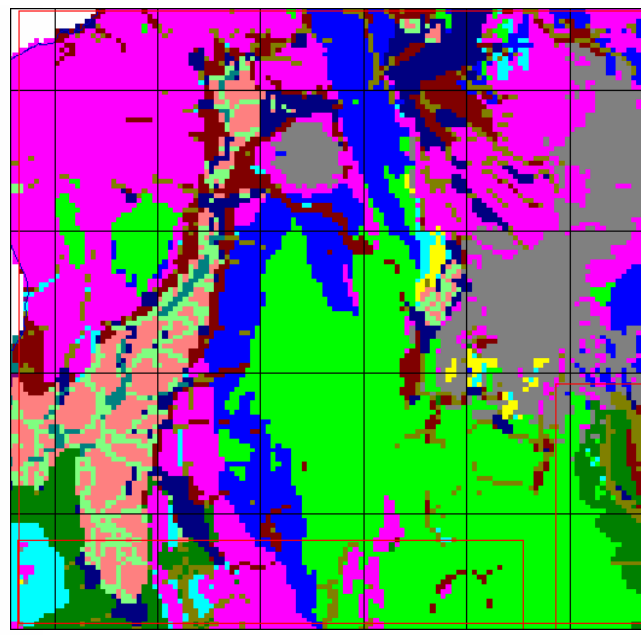
20万分の1地勢図



旧微地形区分
(1kmメッシュ)



20万分の1地質図



新微地形区分
(1kmメッシュ)

図 2-5-6
微地区分の再検討
(札幌北東地区)
左上：地形図
左下：地質図
右上：微地形区分
(2004.3時点)
右下：見直し後の微地形
区分

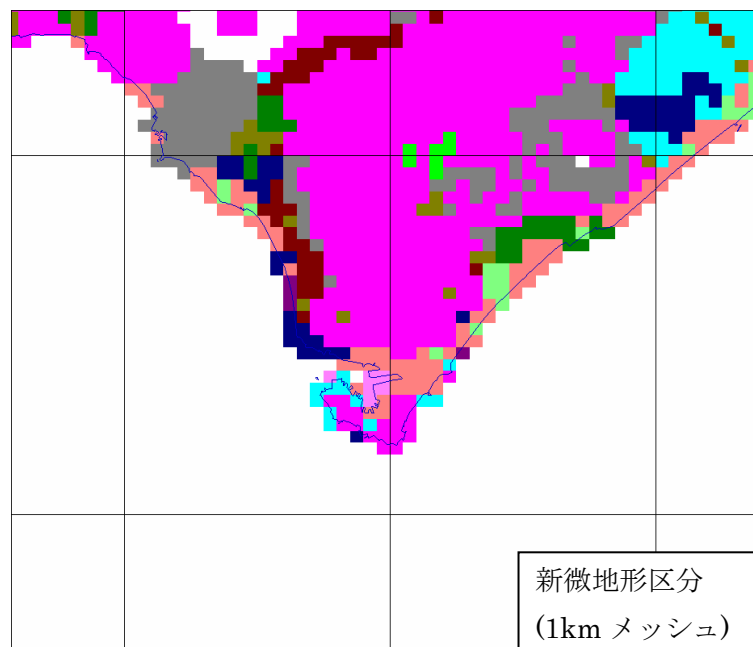
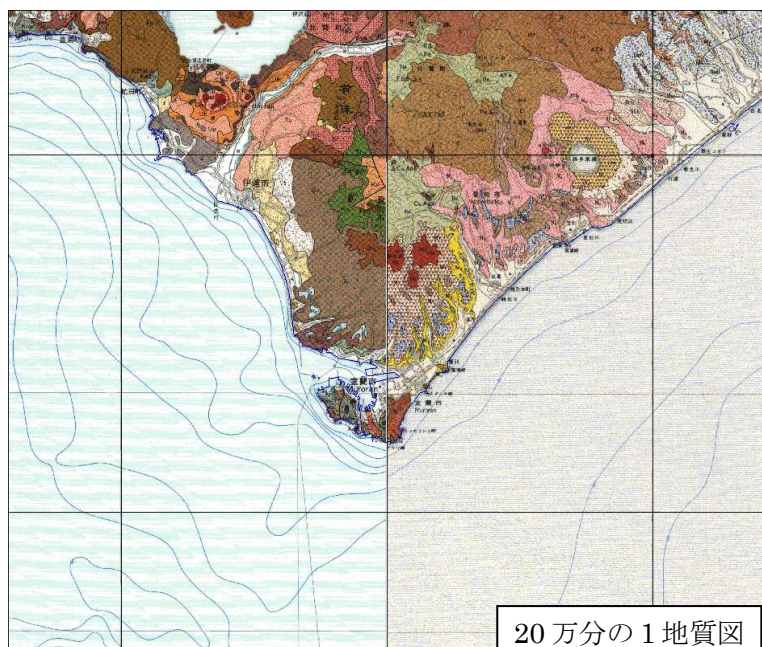
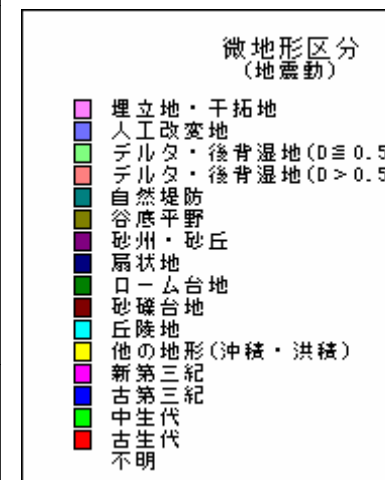
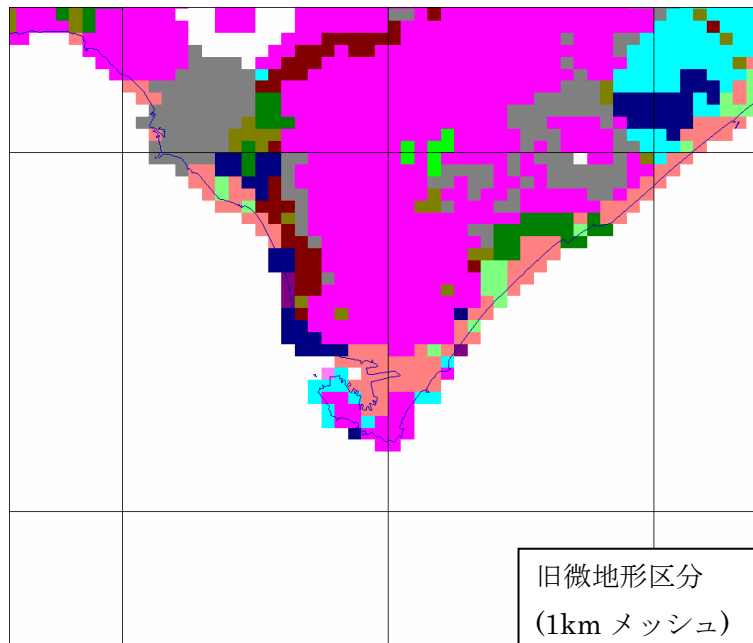
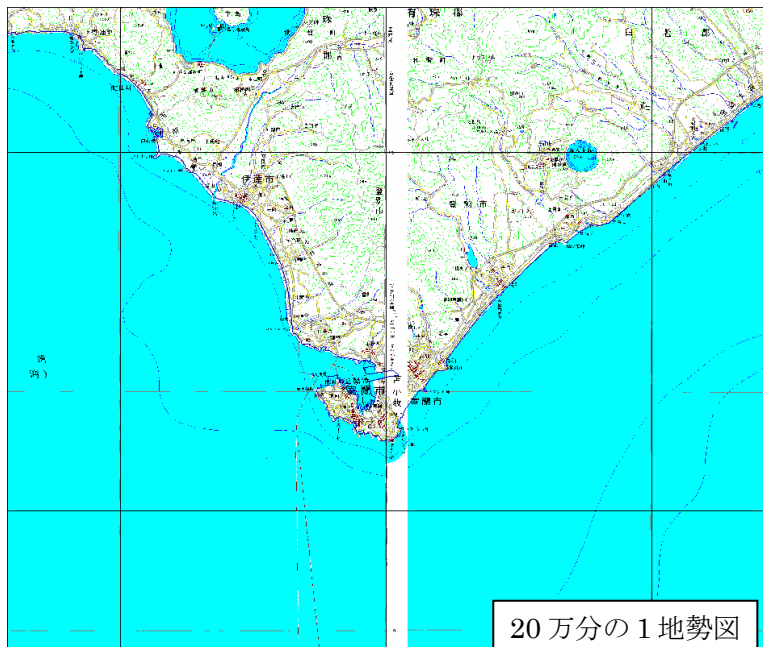


図 2-5-7
微地区分の再検討
(室蘭地区)
左上：地形図
左下：地質図
右上：微地形区分
(2004.3 時点)
右下：見直し後の微地形
区分

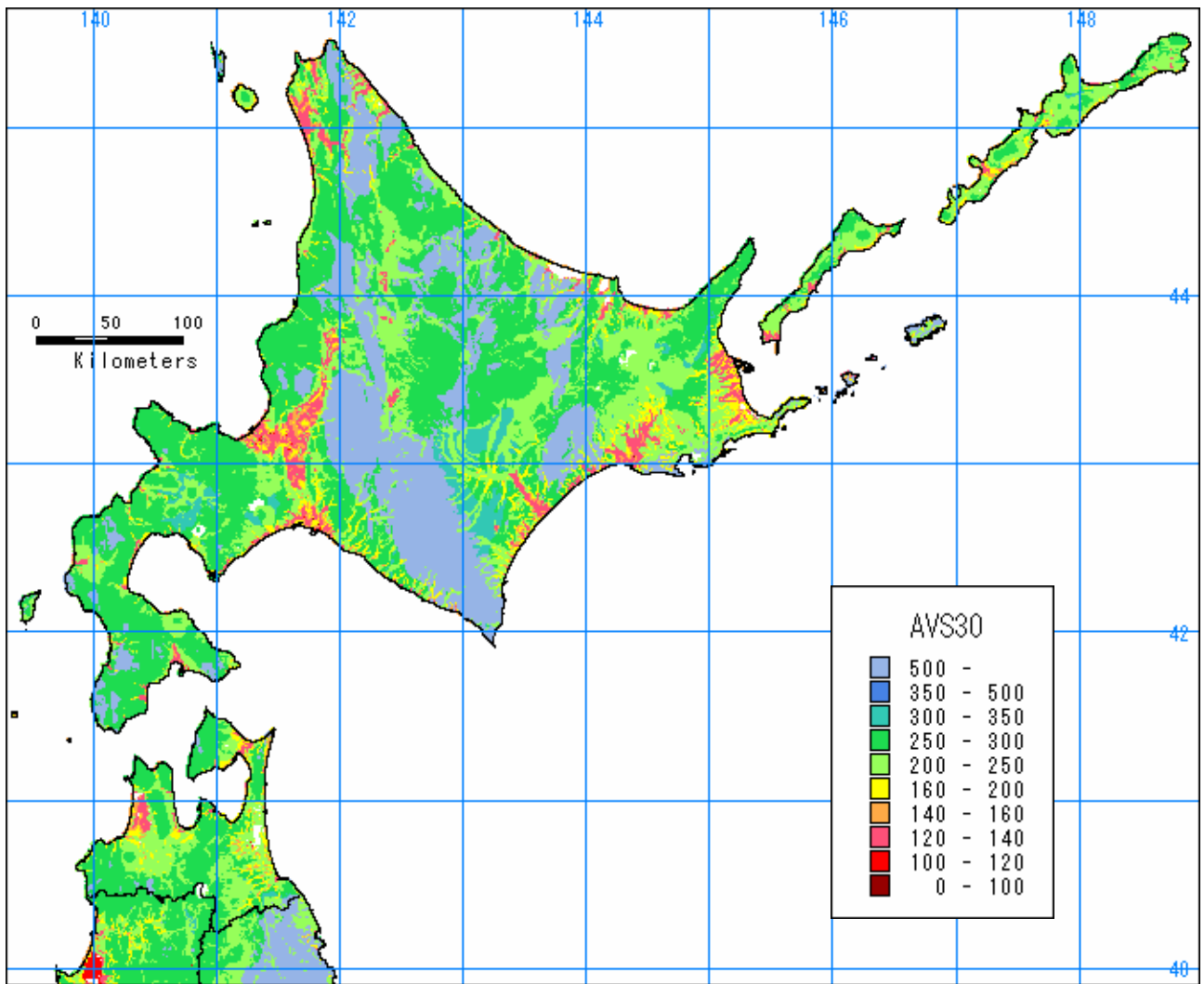
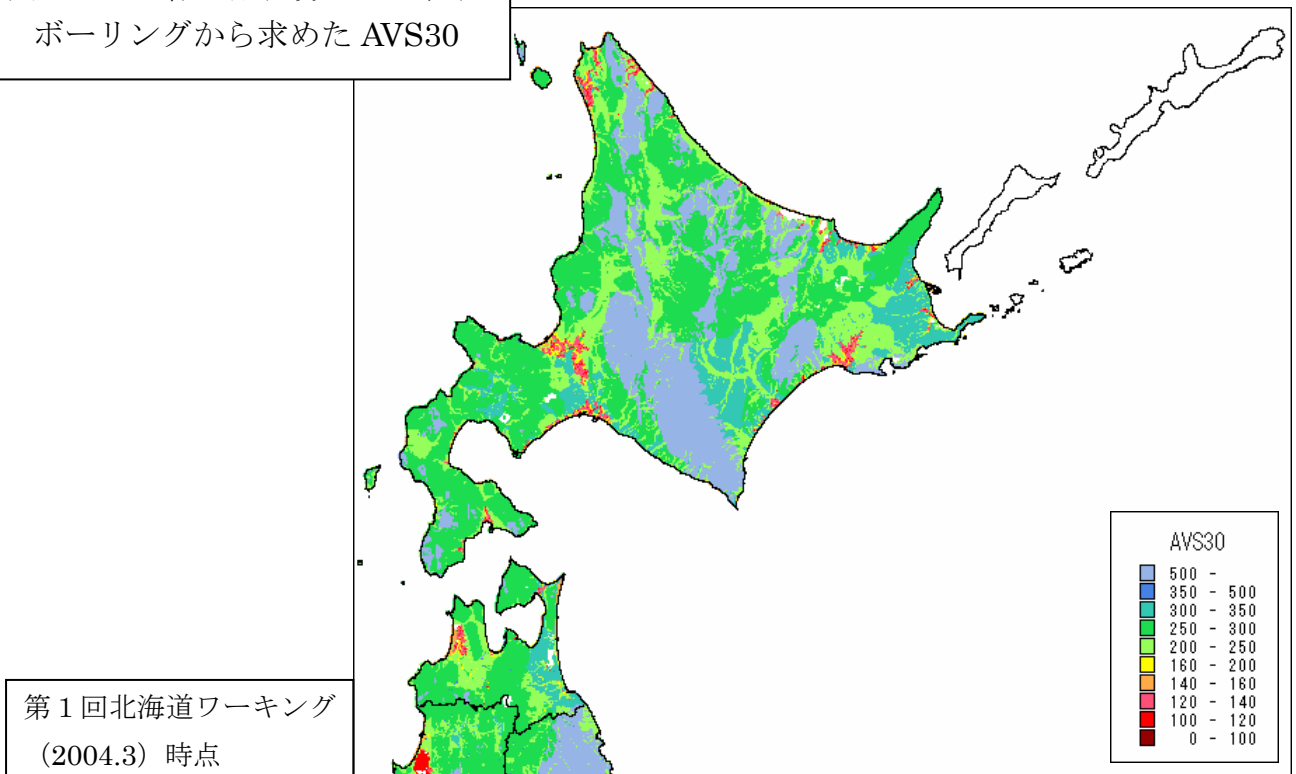


図 2-6 微地形区分および代表ボーリングから求めた AVS30



第 1 回北海道ワーキング
(2004.3) 時点

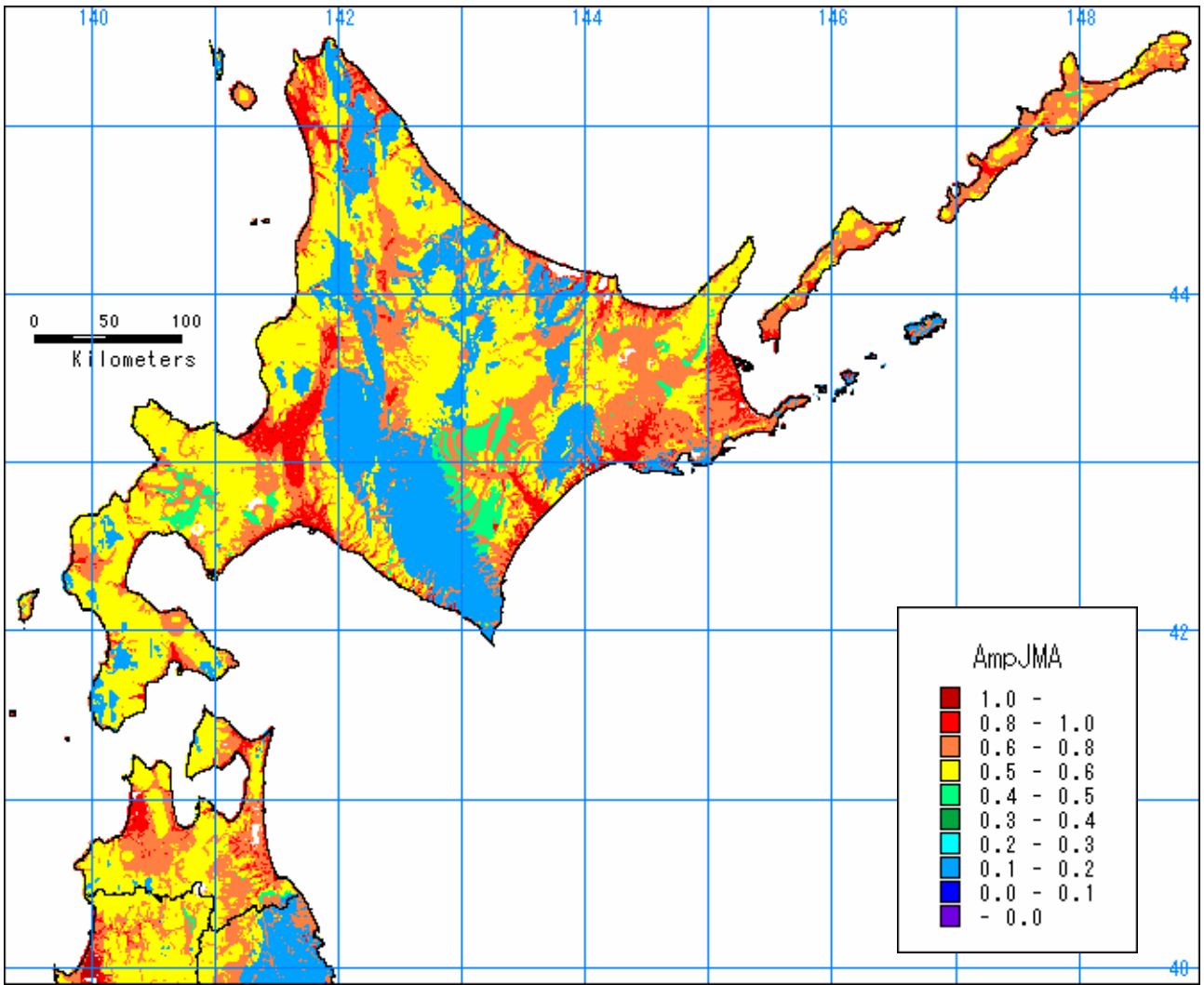
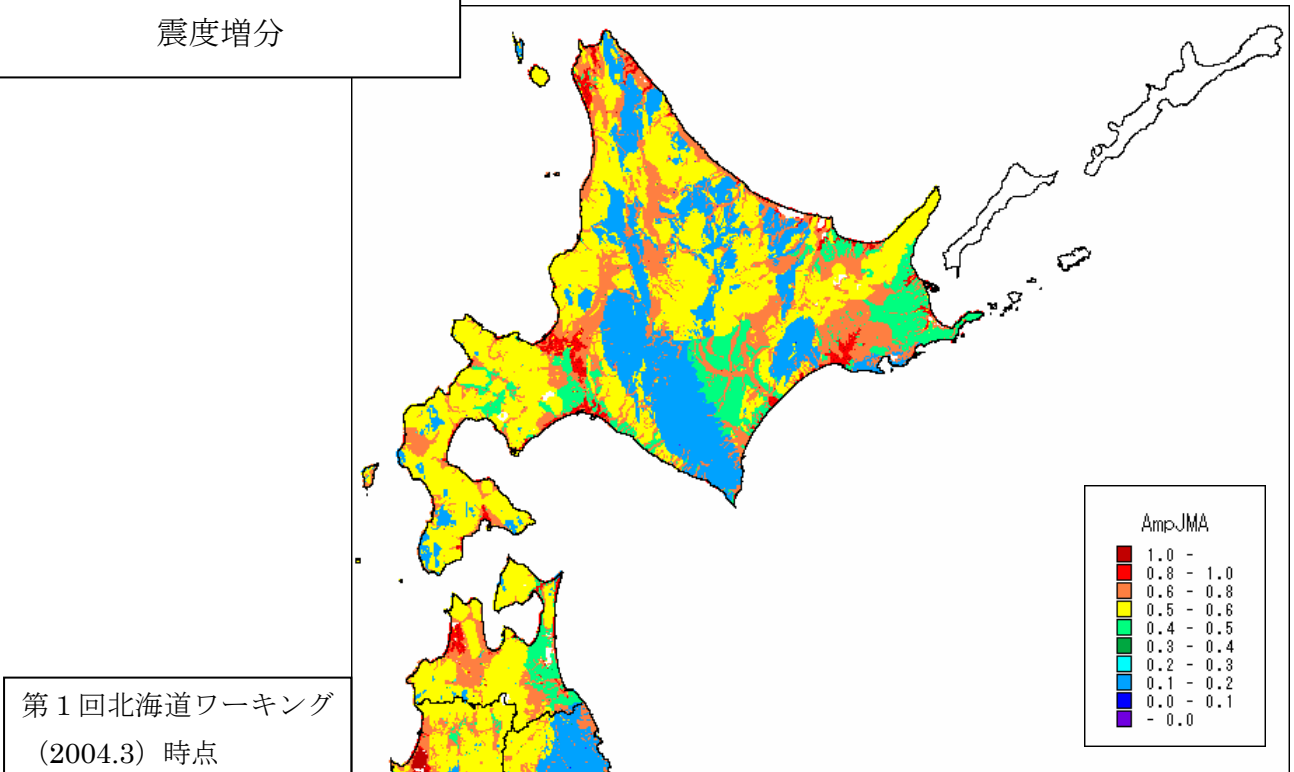


図 2 - 7 AVS30 から求めた
震度増分



第 1 回北海道ワーキング
(2004.3) 時点

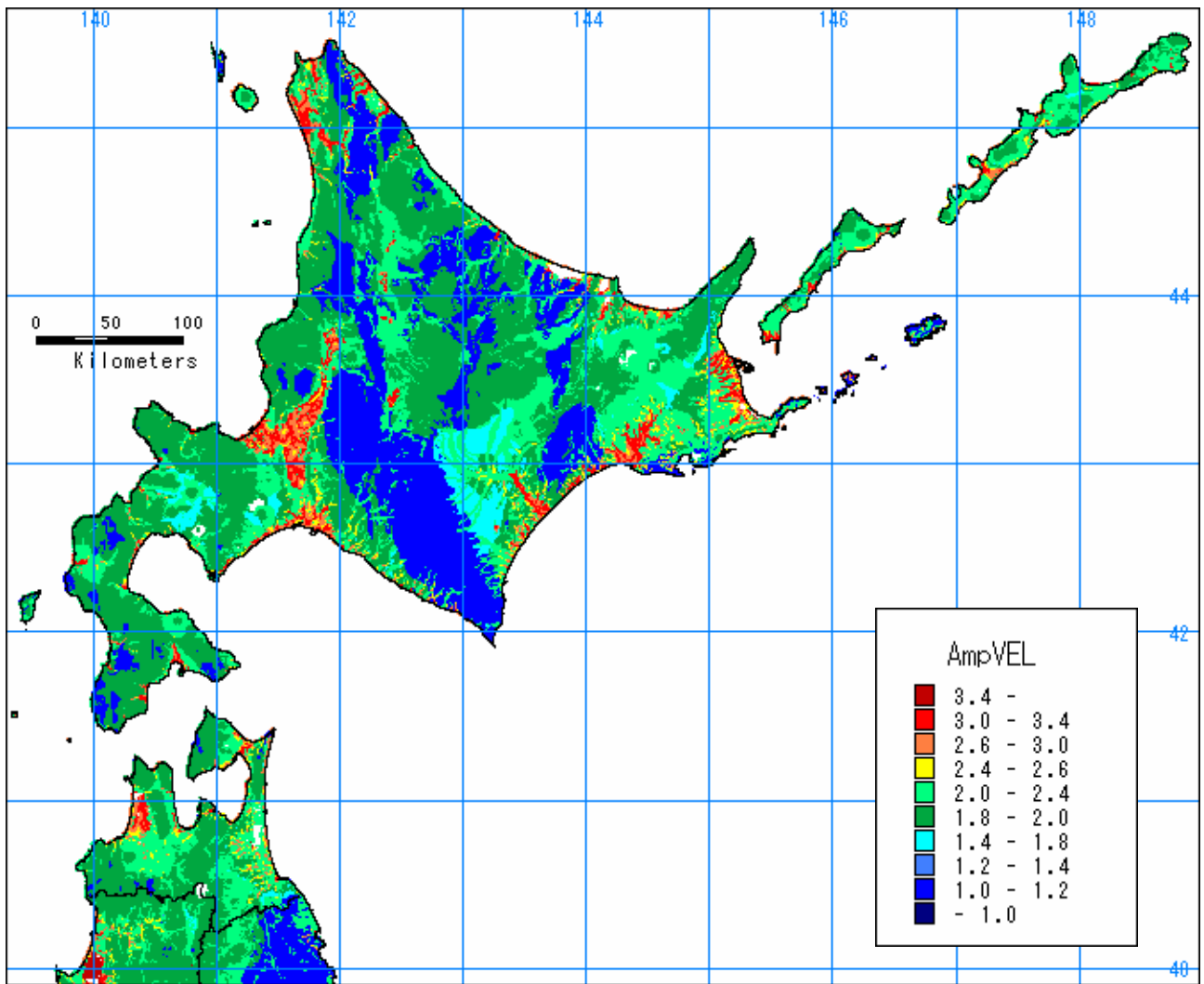
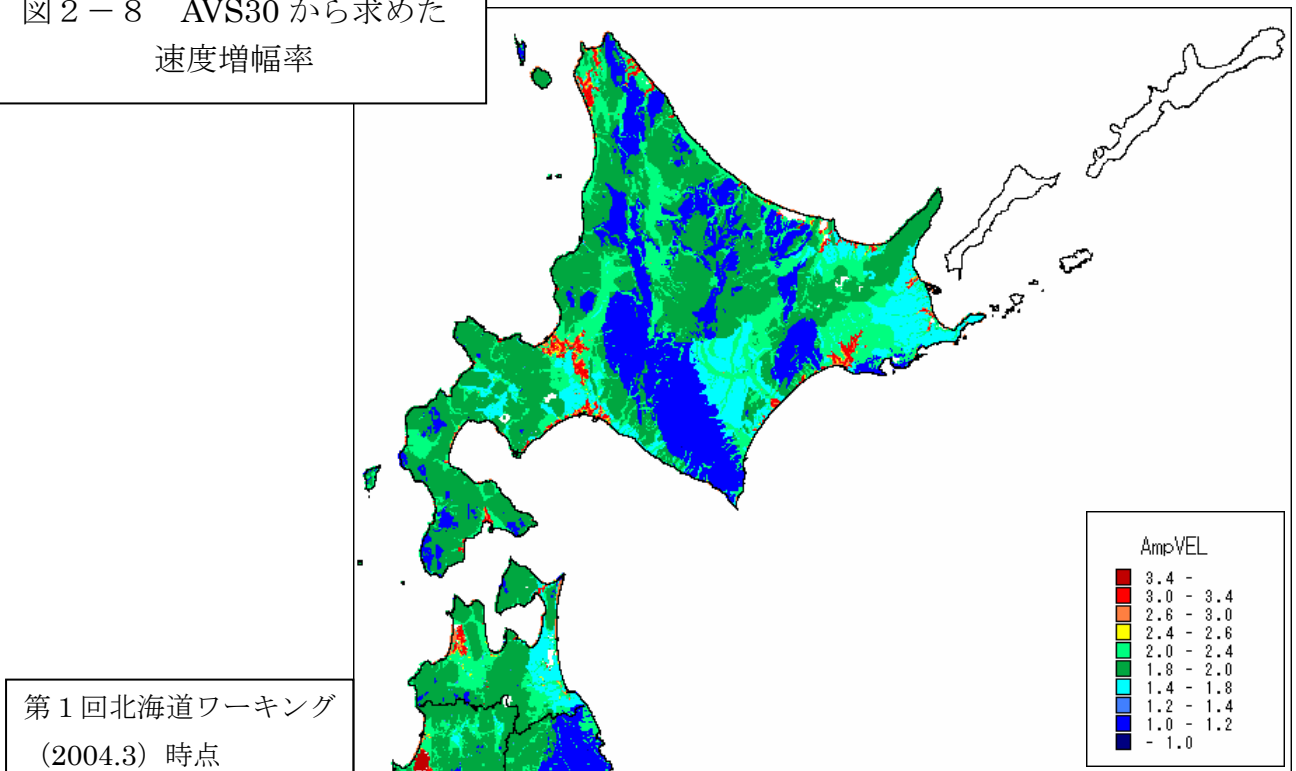
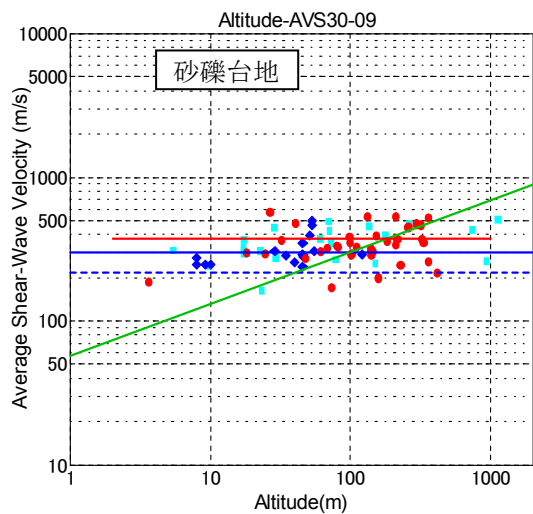
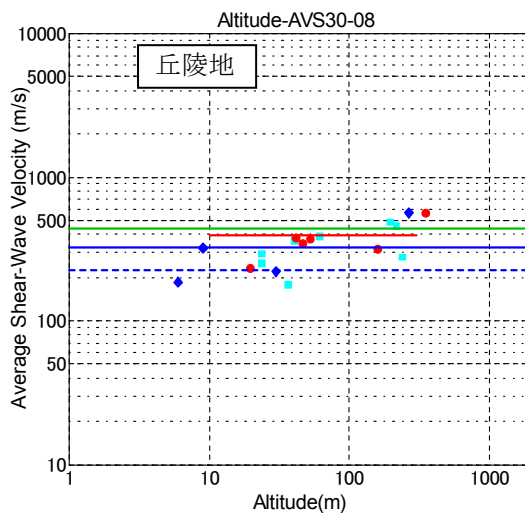
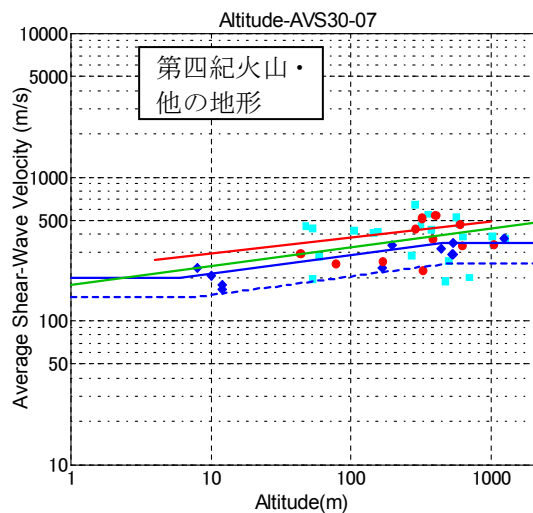
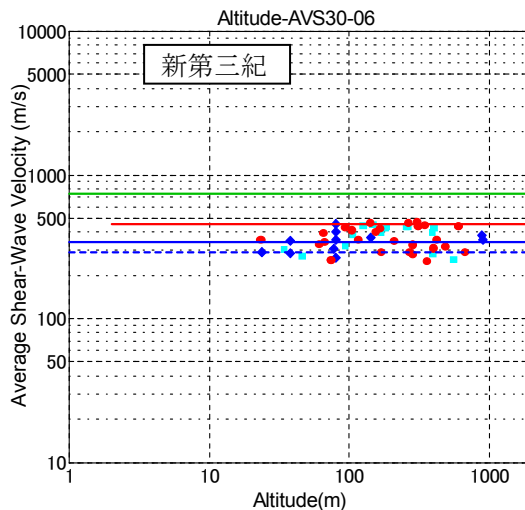
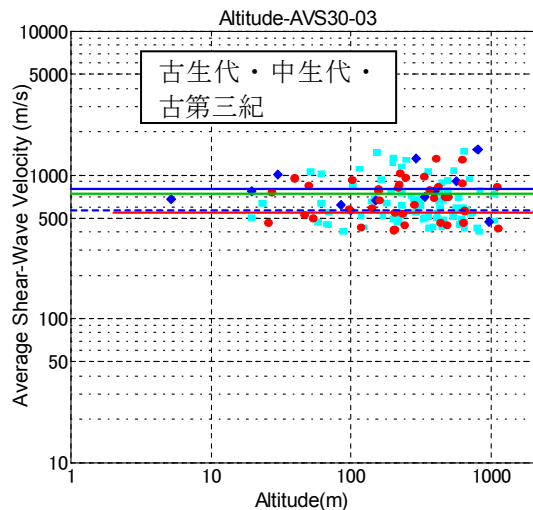


図 2 - 8 AVS30 から求めた
速度増幅率

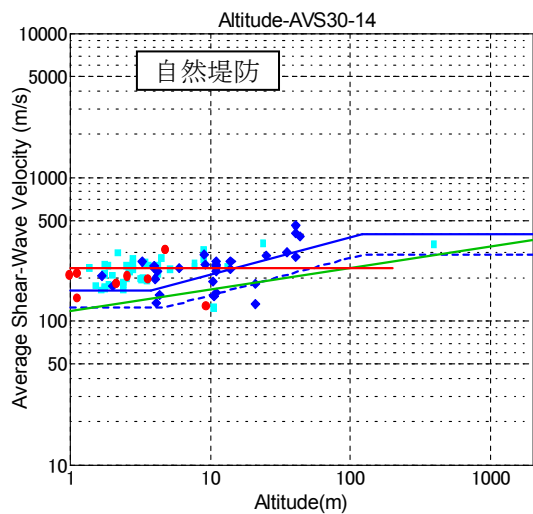
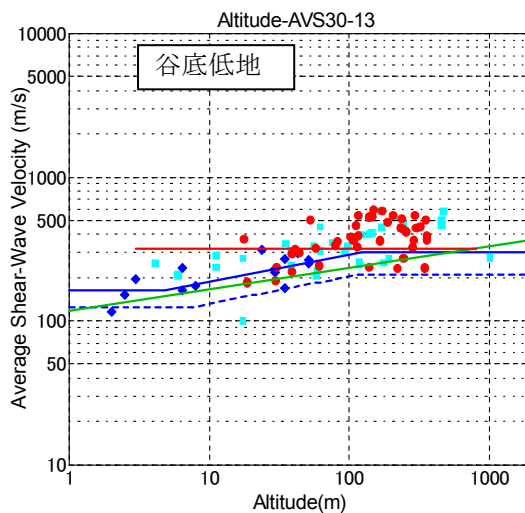
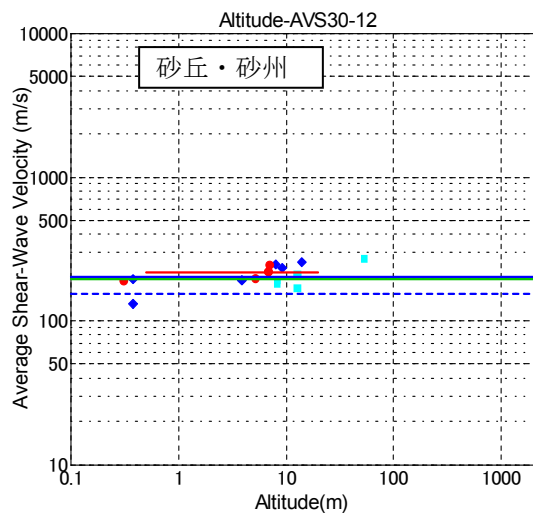
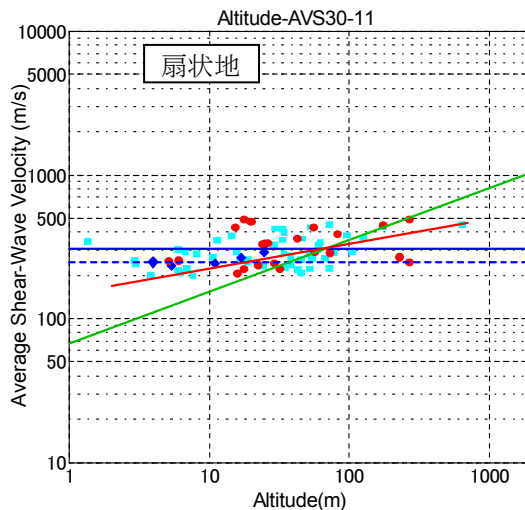
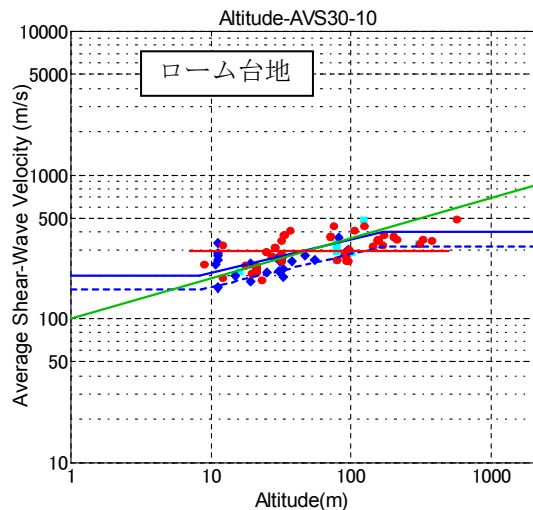


第 1 回北海道ワーキング
(2004.3) 時点



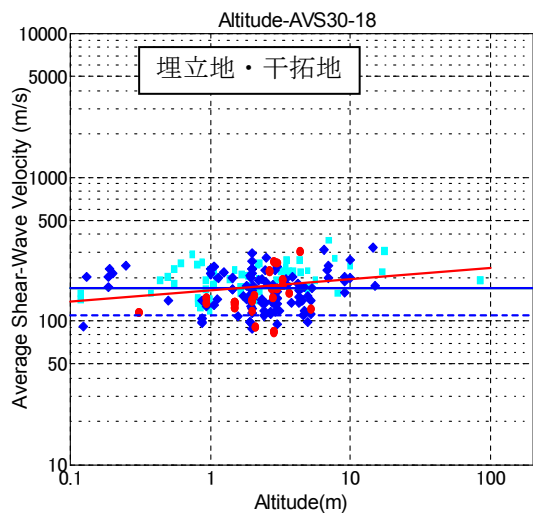
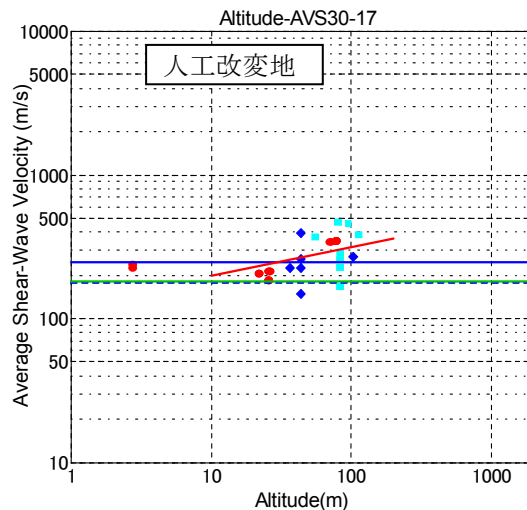
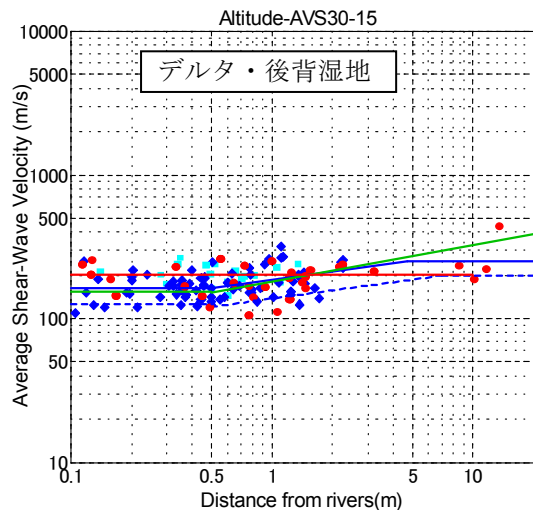
- 新規収集データ
- 東南海・南海地震収集データ
- ◆ 東海地震収集データ
- [μ式] (東海地震専門調査会採用)
- - - [σ式] (東海地震専門調査会採用)
- 松岡・翠川 (1994)
- 藤本・翠川 (2003) 東北日本

図 2 - 9 標高と AVS30 との関係 (1) [PS 検層データによる]



- 新規収集データ
- 東南海・南海地震収集データ
- ◆ 東海地震収集データ
- [μ式] (東海地震専門調査会採用)
- - [σ式] (東海地震専門調査会採用)
- 松岡・翠川 (1994)
- 藤本・翠川 (2003) 東北日本

図 2-10 標高と AVS30 との関係 (2) [PS 検層データによる]



- 新規収集データ
- 東南海・南海地震収集データ
- ◆ 東海地震収集データ
- [μ式] (東海地震専門調査会採用)
- - - [σ式] (東海地震専門調査会採用)
- 松岡・翠川 (1994)
- 藤本・翠川 (2003) 東北日本

図 2 - 11 標高と AVS30 との関係 (3) [PS 検層データによる]